

『コウノトリ』のヒナが誕生

JH3HG1 吉村 豊樹



会報 414 号の記事から

当地（赤穂郡上郡町）では何年前からか『コウノトリ』が飛来するようになりました。

昨年はペア（J0422 オス、J0231 メス）が電柱の上に巣を造ってしまい、危険なため電力会社が巣を撤去したことがありました。

そこで有志がクラウドファンディングで資金を募り、人工巣塔を建てました。幸い今年2月にそのペアが人工巣塔の上に巣を造って居着き、4月初旬現在 卵を抱えています。

約 35 日で雛が誕生するそうなので、あと 10 日ほどです。

ほぼ毎朝 ウォーキングの途中、巣塔の近くを通っていて、巣の様子を観察しており、何とか無事に誕生してほしいと願っています。 **写真は巣塔の上で卵を抱えているコウノトリです。**

『コウノトリ』の その後です。

◎4月下旬に無事 3羽 のヒナが誕生しました。これは西播磨（兵庫県の南西部）では初めてのことです。



写真 ① 5月7日

◎写真①は人工巣塔上の親鳥とヒナです。
(誕生の約10日後)



写真 ② 5月20日

◎写真②は親鳥が餌を摂ってきて巣に戻ったところです。ヒナは かなり大きくなっています。

写真③ 6月4日



◎写真③は6月4日の巣塔上の様子です。左端が親鳥ですが、この頃には親鳥とヒナの見分けがつきにくいほどヒナは成長しています。

写真④ 6月11日



◎写真④親鳥とヒナの様子ですが、ヒナはずいぶん大きくなっています。

写真⑤ 6月21日



識別用の足輪装着 状況

◎写真⑤に写っている3羽は全てヒナです。一羽が盛んに羽ばたきをしていましたが、この2日後、無事に巣立ちしました。

5月下旬に『兵庫県立コウノトリの郷公園』から係の方々が来られて、ヒナ3羽に識別用の足輪を装着しました。その後、ヒナの性別が判明しています。『()』内は町内で公募した名前です。

『J0884 メス (みね)』、『J0885 オス (こう)』、『J0886 メス (ふく)』

現在 (7月17日) 親鳥も幼鳥 (巣立ったヒナを幼鳥と言うそうです) もあまり巣には戻ってこななくなっています。どこかで元気に餌を摂っているのだと思います。

親鳥は繁殖期になるとまた元の巣に戻ることが多いとのことなので、次のヒナの誕生を楽しみにしています。